

某楼に飲す (伊藤博文)

豪氣堂堂横大空 日東誰使帝威隆  
高樓傾盡三杯酒 天下英雄在眼中

解説 高樓で酒をのみ、高揚した気分を詠じた詩。

豪氣 堂々 大空に 横たわる

語釈 ※豪氣||豪壯雄大な氣。※日東||日本国のこと。※帝威||天皇の威光。※三杯酒||沢山の酒という意味。※在眼中||眼の中に入るくらい、ちつぽけである。

日東 誰か 帝威をして 隆ん ならしむ

通釈 高樓に登ると豪壯、雄大に大空に横たわっている気がする。この日本の中で、天皇の威光を世界に輝かせることができるのは、いつ

高樓 傾け 尽くす 三杯の 酒

たい誰であろうか。高樓に登って大杯の酒を重ね、豪氣を満喫すれば、世界の歴史に現われた英雄も、眼の中に入ってしまふほどちつぽけに見えるてくる。

天下の 英雄 眼中に 在り